

2023

JA東京あおばレポート

令和4年4月1日～令和5年3月31日

事業概要のご案内



芽吹かせよう ありがとうの和

ごあいさつ

日頃より、J A東京あおば各事業ならびに、活動に対しまして、組合員、地域の皆さまには、格別のご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。

令和5年度は第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の2年目となります。計画を着実に実践するとともに、組合員の皆さまとの対話を通じ、ご意見やご要望をJ Aの事業運営に反映してまいります。このレポートは、皆さまが安心してご利用いただけるよう、経営内容をご説明したものです。

組合員と共に歩む事業運営を役職員一丸となつてすすめてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京あおば農業協同組合
代表理事組合長

久保 秀一

経営理念

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切にし、地域になくてはならない存在をめざします。

ビジョン

わたしたちJ Aは、くらしのサポーターNo. 1を宣言します。

使命

- 1 都市農業を守る
- 2 組合員のくらしを豊かにする
- 3 地域の活性化に貢献する

価値観

わたしたちは、「4つの満足(4S)の向上」を、事業活動を展開するうえでの共通の価値観とし、経営理念の実現をめざします。

組合員満足 (MS)

組合員が、J Aへの積極的な参加・参画によって協同の成果を実現し、都市農業の振興をはじめそれぞれの願いが満たされること

組織満足 (SS)

組織が健全に経営され、信頼されるJ Aとして、地域になくてはならない存在であり続けること



地域満足 (AS)

J Aが、協同の輪を地域に広げ、地域の活性化・持続的発展に貢献することにより、地域の皆さまのくらしが豊かになること

職員満足 (ES)

職員が、働くよろこび、仕事のやりがいを通じて成長し、心を高められる職場であること

プロフィール

創 立

平成9年4月1日、板橋・練馬・石神井・大泉の4農協が合併し、「新しい青葉若葉が成長し、やがて生い茂り見事な大木となるように」「東京にいつまでも木々の青葉や緑を残したい」という願いを込めて『JA東京あおば』が誕生しました。

本店所在地

東京都練馬区高松 5-23-27

地 区

板橋区・北区・豊島区・練馬区

農 業

キャベツを基幹作物として、ダイコンやブロッコリーなど多品目が栽培されており、花卉・果樹・植木・盆栽なども生産されています。また、伝統作物の復活栽培にも取り組んでいます。

出 資 金*

21億1,263万円

役 職 員 数*

役員34人 職員372人(令和5年3月末退職者を除く)

組 合 員 数*

27,316人(正組合員2,497人 准組合員24,819人)

子 会 社

1社(東京協同サービス株式会社)

※数値は、令和5年3月31日現在のものです。

第26回 通常総代会

と き 令和5年6月27日(火)

ところ IMAホール

1. 報告事項

- (1) 第26期貸借対照表、損益計算書及び注記表の報告について
- (2) 第9次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和4年度～令和6年度ー「未来へつなぐ協同の輪」の取り組み報告について
- (3) 「JAバンク基本方針」の変更について

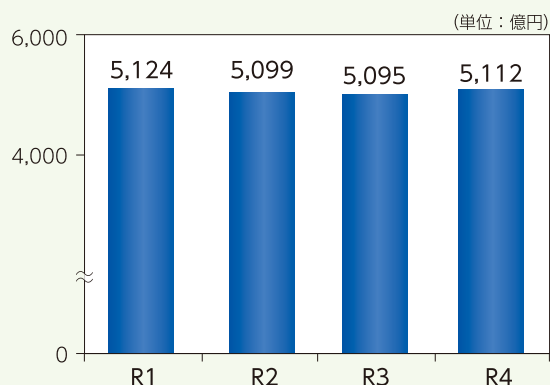
2. 決議事項

- | | |
|-------|------------------------------|
| 第1号議案 | 令和4年度事業報告及び第26期剰余金処分案の承認について |
| 第2号議案 | 令和5年度事業計画設定について |
| 第3号議案 | 定款の一部変更について |
| 第4号議案 | 定款附属書総代選挙規程の一部変更について |
| 第5号議案 | 令和5年度理事及び監事の報酬等の額の決定について |
| 第6号議案 | 役員退職慰労金の支給について |

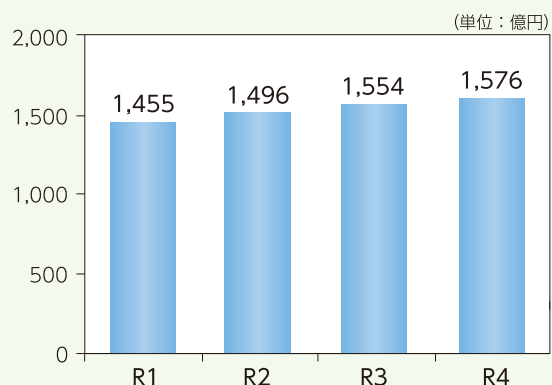
決議事項はすべて承認されました。

主な事業実績

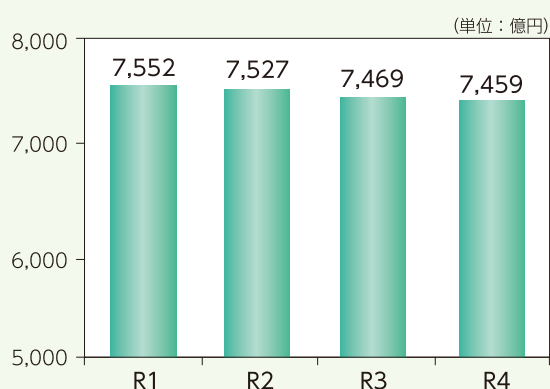
貯金残高の推移



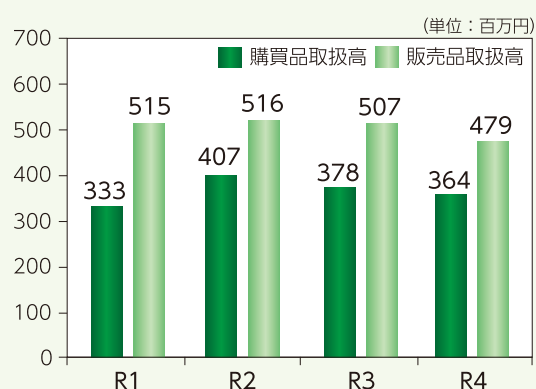
貸出金残高の推移



長期共済保有高の推移



購買品取扱高・販売品取扱高の推移



[注] 本レポート中の金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

経営内容について

総 資 産	5,509億 9,737万円
組 合 員 資 本	376億 9,251万円
事 業 利 益	2億 8,125万円
経 常 利 益	6億 6,474万円
当 期 剰 余 金	3億 7,483万円

(令和5年3月31日現在)

剰余金処分計算書

(単位:円)

科 目	金 額
1 当期末処分剰余金	1,397,499,729
2 任意積立金取崩額	12,865,879
教育文化活動積立金取崩額	12,865,879
3 剰余金処分数額	443,264,409
(1)任意積立金	172,496,931
特別積立金	100,000,000
税効果会計調整積立金	72,496,931
(2)出資配当金	82,741,788
(3)事業分量配当金	188,025,690
4 次期繰越剰余金	967,101,199

[注]

1.出資配当は年4.0%の割合です。

(合併25周年記念配当 年1.0%含む)

2.事業分量配当の基準は次のとおりです。

(1)当座性貯金の平均残高に対し、年0.02%の割合です。ただし、決済用貯金は除きます。

(2)定期性貯金の平均残高に対し、年0.07%の割合です。ただし、特別金利適用分は除きます。

(3)貸出金の受取利息に対し、年5.0%の割合です。ただし、貸出金利 年1.03%未満は除きます。

3.次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額19,000千円が含まれています。

経営の健全性について

16.52%

(令和5年3月31日現在)

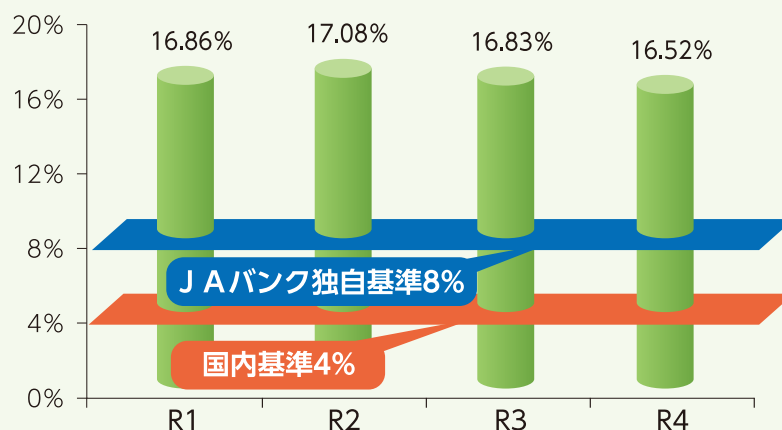
J Aバンク独自基準 8%

国内基準4%に対して、国際統一基準である8%をJ Aバンク独自基準として定め、健全性を高めています。

国内基準 4%

海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率基準は、4%以上とするものです。

単体自己資本比率の推移



第9次中期経営計画（農業振興計画含む）

—令和4年度～令和6年度—「未来へつなぐ協同の輪」の取り組み報告について

令和4年度は、第9次中期経営計画（農業振興計画含む）の初年度として3つの戦略を基軸に、組合員との対話運動を実践し、組合員と共に歩む事業運営を行なっていました。

第1の柱 「農業振興計画」 持続可能な都市農業の確立

第2の柱 「組織基盤戦略」 対話運動を通じた組合員とのつながり強化

第3の柱 「経営基盤戦略」 経営基盤の強化・人財育成

第1の柱「農業振興計画」—持続可能な都市農業の確立—

食と農を通じた豊かでくらしやすい地域づくり

令和5年3月に、名称が決定した「練馬区立高松みらいのはたけ」は、「農の景観を区民とともに育て・守る畑」をコンセプトとして、JA東京あおばが練馬区から委託され管理を行なっています。

夏野菜等の収穫体験（6回）及び、「第16回練馬大根引っこ抜き競技大会」を同会場で開催しました。

また、石神井支店を会場に、社会科見学の受け入れを行ないました。（14校、1,203人）



7月2日 夏野菜収穫体験

（仮称）農の風景公園▶▶▶練馬区立高松みらいのはたけ

売れる直売所に向けた運営体制強化

これまで直売所ごとに行っていたイベントを統一し、利用者の皆さまに喜んでもらえる、より魅力的な直売所づくりに努め、都内JA直売所間流通や、提携JAによる品揃えを強化しました。



6月11日～12日 直売所フェスタ

都市農業の多面的機能の発揮

練馬区立の小中学校への地場産農産物の提供をはじめ、JAのない行政区への学校給食食材提供を行ないました。（46校）



地場産の野菜を使った学校給食

第2の柱「組織基盤戦略」—対話運動を通じた組合員とのつながり強化—

組合員(正・准)との対話運動の展開

支店渉外担当者による日常的な訪問活動を強化したほか、支部長会議、組合員座談会を各地区で開催しました。また、正組合員・支部員の皆さまへ「JA東京あおば組合員アンケート2022」や准組合員の皆さまへ、広報誌等を活用したアンケートを実施し、多くのご意見・ご要望をいただくことができました。



各地区支部長会議



組合員座談会



JA東京あおば組合員アンケート

次世代の組合員リーダーの育成

これからの地域農業やJAを担う次世代リーダー(役員等)を育成するために、「第1期JA東京あおばカレッジ」(組合員大学)を開講しました。(受講生8人)

また、3月には教育文化活動セミナーを開催し、青壮年部・女性部による活動発表のほか、今泉マユ子氏による「防災食」に関する講演が行なわれました。



10月18日 第1期JA東京あおばカレッジ開講



3月25日 JA東京あおば教育文化セミナー

協同組合運動を促進する広報活動の展開

令和4年度に運用を開始したロゴマークやコーポレートカラーを基軸としたデザインを広く周知するために、ホームページをリニューアルしました。

また、各直売所でSNSアカウントを開設し、地域の皆さまに最新の情報を発信し、親しみやすい直売所を目指しております。

JA東京あおば



<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp> ▶



ホームページリニューアル(スマホ画面)

第3の柱「経営基盤戦略」—経営基盤の強化・人財育成—

組合員の資産を次世代につなぐ訪問活動

令和4年4月地域振興事業本部に資産管理部を新設し、相続事前相談・相続シミュレーションを行ないました。

組合員の皆さまの資産を次世代へつなぐ、各部署と連携した訪問活動を展開しました。

取り組み内容	実績
事業承継・遺言信託相談	70件(目標30件)
相続事前相談・相続シミュレーション	240件(目標35件)
資産保全・運用・活用・相続セミナー	4回開催

支店再編による効率化・合理化

支店名	日程	内容
関町支店	令和5年 1月16日	新築移転オープン (マルシェ・定期貯金キャンペーン実施)
富士見台支店	令和5年 1月28日	石神井支店へ統合 ※キャッシュコーナーは 移転



1月16日 関町支店 新店舗オープン

お知らせ

大泉支店は令和5年6月19日(月)より、同敷地内の新店舗にて営業を開始いたしました。中村橋支店は令和5年10月23日(月)より、新店舗にて営業を開始いたします。なお、ファーマーズショップこぐれ村は増改築工事を進めており、令和5年度中のリニューアルオープンを予定しております。

人財育成・活力ある職場づくり

若手職員の経営への参画意識向上及び、「明るいあおば」、「元気なあおば」を実現するため、「若手職員座談会」を4回開催し、75人が参加しました。



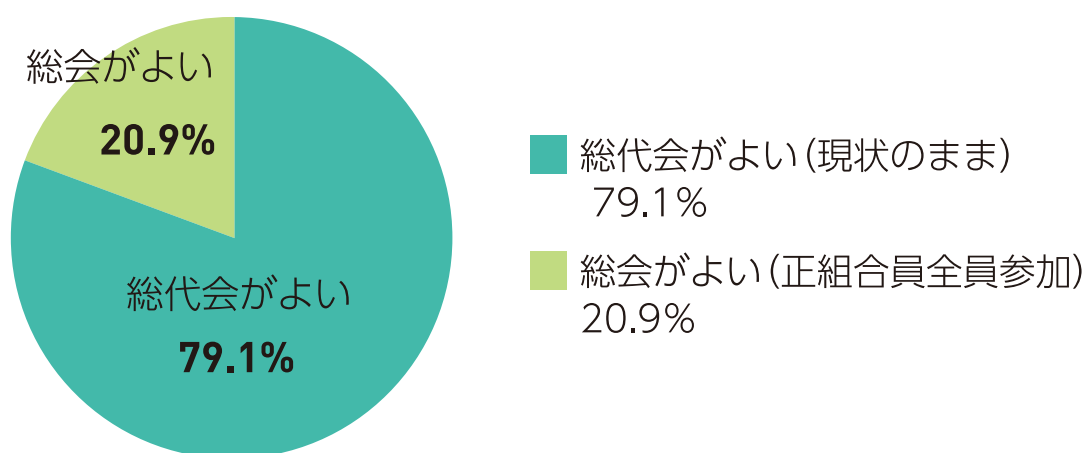
3月中～下旬 若手職員座談会

総代定数の変更について

総代定数変更については、支部長会議・各地区部会会議・組合員座談会にてご意見・ご要望をいただきながら、理事会にて協議を重ねてまいりました。また、支部長アンケートならびに「JA東京あおば組合員アンケート2022」においても、組合員皆さまのご意向を確認させていただき、**総代制を継続する**方針のもと、合併時に定められた**総代定数600人を500人へ**変更することが決定いたしました。

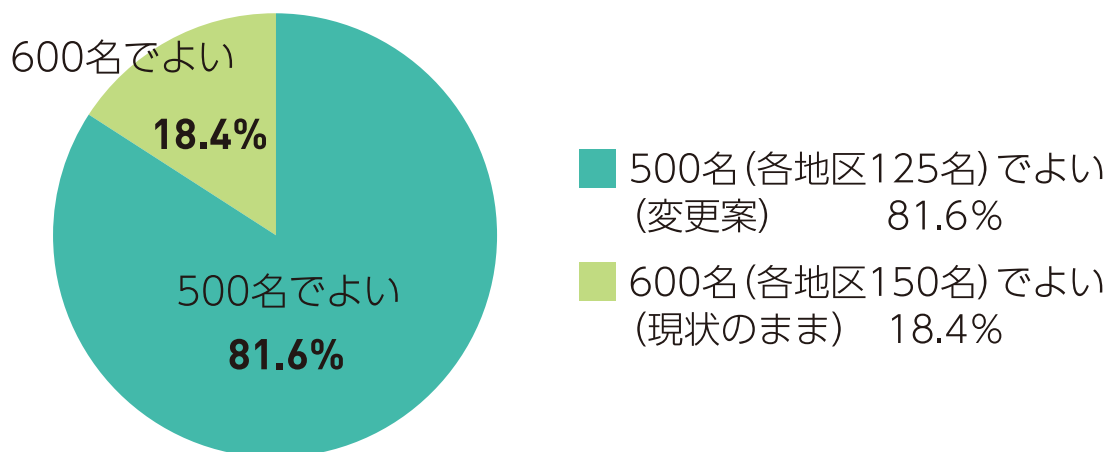
当JAの意思決定機関についてお伺いしました。

●質問：「総会」がよい・「総代会」がよい [回答数：862]



現在の総代定数600名を500名に変更することについてお伺いしました。

●質問：「500名」でよい・「600名」でよい [回答数：868]



<「JA東京あおば組合員アンケート2022」より抜粋>

JA東京あおばの自己改革工程表

JA東京あおばは、これまで、組合員の意見・要望を反映した中期経営計画を策定し、「農業者の所得増大」「施設および事業改革」「人づくり・人財育成」を基本とする実践に全力で取り組んできました。

これまで、自己改革の取り組みについては、平成30年に実施した「JAの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員の皆さまから、一定の評価と自己改革に一層期待すると声をいただくことができました。

また、多くの准組合員の皆さまからは、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただいております。

JA東京あおばでは、こうした組合員の皆さまからの声に応え、正・准組合員が一体となった事業運営を実現するため、准組合員については、「正組合員と共に、農業や地域経済の発展を共に支える組合員」として、地域の農業振興を応援する准組合員の加入促進を実施してまいります。

JA東京あおばが、地域になくてはならない存在であり続けるため、組合員・地域の皆さまから「頼りにされる職員」の育成に取り組み、組合員との徹底した対話・訪問活動を通じた関係性（リレーションシップ）の構築を行ないながら、総合事業を基本として「東京あおばの自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実践するための具体的な方針

1. 都市農業の振興

農業者の所得増大に向け、地域振興渉外担当者の訪問活動を強化し、農業者概況調査による栽培作物の体系的な把握と、営農指導・相談業務の向上を図ります。

また、生産コストの低減及び、外販への販路拡大等による、生産・販売強化に取り組めます。

2. 組合員とのつながり強化

組合員の意思を事業や活動に反映させるため、訪問活動や様々な接点を通じ、組合の事業活動に対し、意見・要望を聴き取ります。そのうえで、改善・実行を繰り返し、組合員と共に歩む事業運営を行ないます。

3. 人づくり・人財育成

これからの地域農業やJAを担う次世代リーダーを育成するとともに、「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さまから頼りにされる、専門性の高い職員の育成に取り組めます。

4. 経営基盤の強化

総合事業の強みを発揮し、「組合員のメイン化(太く)・組合員の取引複数化(広く)・組合員の生涯取引化(長く)」を実践し、収益基盤の拡大と収益力の強化を行ない、組合員サービスを維持・提供できるよう経営基盤の強化に取り組めます。

重点施策		成果指標・計画値			
都市農業の振興【農業者の所得増大】		令和4年度		令和5年度	令和6年度
マルシェ等農産物販売会の支援		計画	実績	計画	計画
対象者：青壮年部員等	想定：売上増加効果	10回	10回 (支援29回)	10回	10回
3年間合計：30回	1団体売上 15万円／回				
肥料・農薬を除く生産資材共同購入の実施		計画	実績	計画	計画
対象者：農業者	想定：コスト低減効果	3品目	4品目 (平均11.4% 低減)	3品目	4品目
3年間合計：10品目	1品目あたり平均10%低減				
買取販売方式の導入		計画	実績	計画	計画
対象者：直売所出荷者	想定：売上増加効果	前年比 10% 増加	前年比 17.2% 増加	前年比 10% 増加	前年比 10% 増加
各年度前年比10%増加	買取販売品売上高 前年比10%増				

組合員とのつながり強化【対話：訪問活動】		令和4年度		令和5年度	令和6年度
組合員（正・准）との対話運動の展開		計画	実績	計画	計画
組合員（正・准）加入運動の実施	3年後：組合員総数29,000人	28,300人	27,316人	28,600人	29,000人
支部長会議の開催	毎年4月、6月、10月、2月	16回、450人	16回、386人	8回、200人	8回、200人
組合員座談会の開催	毎年7～8月、1～2月	8回、200人	16回、261人	16回、450人	16回、450人
農業者訪問活動	対象農家：550戸（令和3年度基準）	550戸	502戸	全戸	全戸

人づくり・人財育成【組合員・職員教育】		令和4年度		令和5年度	令和6年度
次世代の組合員リーダーの育成		計画	実績	計画	計画
JA東京あおばカレッジの開講・運営	3年間合計：12回	—	4回	6回	2回
組合員から頼りにされる専門性の高い職員の育成		計画	実績	計画	計画
FP2級	3年後：渉外担当者取得率80%	30%	21.5%	60%	80%
相続アドバイザー 2級	3年間合計：20人	5人	0人	12人	8人
営農指導員	3年後：新規取得6人	2人	2人	2人	2人
宅地建物取引士	3年後：新規取得6人	2人	4人	2人	2人

経営基盤の確立・強化		令和4年度		令和5年度	令和6年度
支店再編方針に基づく第1期・2期支店再編計画の実践		計画	実績	計画	計画
令和6年度	14支店を9支店へ集約	14→13支店	13支店	13→10支店	10→9支店
売れる直売所に向けた運営体制強化		計画	実績	計画	計画
令和6年度	令和3年度対比(3年後：10%増加)	3%増加	6.4%減少	6%増加	10%増加
農業資金をはじめとした各種事業資金等の積極的な展開		計画	実績	計画	計画
令和6年度	融資残高の伸長(3年後：1,660億円)	1,580億円	1,576億円	1,620億円	1,660億円
組合員・地域の皆さまのニーズに応じた、金融商品の提供		計画	実績	計画	計画
令和6年度	貯金残高の伸長(3年後：5,150億円)	5,110億円	5,112億円	5,130億円	5,150億円

対話・意思反映			
項目	令和4年度計画	令和4年度実績	令和5年度計画
支部長会議(回数、出席人数)	16回、450人	16回、386人	16回、450人
組合員座談会(回数、出席人数)	8回、200人	16回、261人	8回、200人
准組合員向け広報誌・ホームページを活用したアンケート(回数、意見提出人数)	1回、250人	1回、521人	1回、250人

人材から人財へ(職員の各種資格取得状況)

当JAは、組合員・利用者皆さまのさまざまなニーズや相談にお応えするために、各種資格取得を奨励しています。

こちらに表記しているものは資格試験の名称です。令和5年3月31日現在資格保有人数累計(令和5年3月末退職者除く、子会社含む)

()は令和4年度取得人数

農業協同組合監査士9名
中小企業診断士1名
社会保険労務士2名
CFP・1級FP技能士3名
AFP・2級FP技能士105名(25)
DCプランナー 2級(企業年金)2名

行政書士2名
宅地建物取引士59名(4)
賃貸不動産経営管理士19名(2)
不動産コンサルティングマスター6名
内部管理責任者(証券外務員)225名(22)
第1種証券外務員311名(39)
損害保険募集人168名
遺言信託(信託業務)142名
個人情報取扱主任者292名(67)
金融AMLオフィサー[実践]115名(24)
金融AMLオフィサー[基本]105名(30)
衛生管理者(第1種、第2種)10名(2)
ITパスポート8名(7)

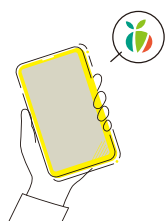
JGAP指導員5名
JAバンク農業金融プランナー.....5名
日本農業技術検定2級.....6名(6)
日本農業技術検定3級.....34名(34)
野菜ソムリエ8名(1)
毒物劇物取扱者40名(1)
わな猟免許12名(1)
食品衛生責任者23名(4)

JA職員資格認証

農業協同組合内部監査士49名(5)
営農指導員28名(2)
上級246名(12)
中級60名(14)
初級40名(20)

※JA職員資格認証試験とは、職員の資質及び技術の向上を図り、JAの社会的使命を全うする人材を養成することを基本理念としたJA系統の内部試験です。

JA 東京あおばのご案内は映像でもご覧いただけます



JA東京あおばでは、事業活動や経営概況の映像を作成し、Youtubeで公開しております。ぜひご覧ください。

※WEBへの接続の際に生じる通信料は、ご覧になられる方のご負担となります。
あらかじめご了承ください。



<https://www.youtube.com/channel/UCsYYPJV2TRJuOtzclazeVw>



JA東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

JA東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

当JAに関する情報はこちらのホームページでご覧になれます。

受付時間

月～金曜日(土日祝日を除く)
午前9時～午後5時

検索

JA東京あおば

<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp>

